

なごやかメイト

令和4年11月20日 第173号

発行者 名東区なごやかクラブ連合会
 名東区上社二丁目50番地
 電話 052-778-3099
<http://kurouren.chu.jp/>

第42回 紅葉狩り 10月24日 愛知カンツリー倶楽部



どの顔もにこやか、晴れ渡った秋の空、降り注ぐ陽光と爽やかな微風。

10時丁度に、豊起枝会師匠加藤豊千久さんの挨拶と踊り、豊蓄(ほうしょう)会師匠宮本豊蓄珠さん、久世社中3団体の皆さんの踊り10曲が続き、最後は炭坑節の総踊り(写真左)、40分たっぷり民謡踊りを楽しみました。おなじみのタックさんの大道芸では、中国ヨーヨー、フープマジック、皿回しなど練達の技を、40分にわたって披露して戴きました。

紅葉には未だ少し間のある1日でしたが、藤が丘コーラスの「紅葉」を皆で歌って、無事に終了。11時半、カンツリー倶楽部の心尽くしのお土産を頂戴して、三々五々散会、参加者332名でした。

高齢者福祉大会 11月2日 長島温泉 湯あみの島

前日の雨も上がり絶好の晩秋、137名が鯨バス4台に分乗し「湯あみの島」へ。三年越しの「高齢者福祉大会」が3F大広間で始まりました。

「参加に感謝、今日は大いに楽しみ、そして仲間の輪を広げましょう！」との長尾会長のご挨拶。

名東区社会福祉協議会事務局長 山根恵一郎氏による「福祉と自立」についての講話は資料が用意。

「自立の概念」が近年変わったとのこと。以前の福祉という自立はあくまでも「個人努力」であった。これが、「個人努力だけでなく、地域で自立を支え合える環境もつくる」に見直された、との内容でした。

その後、恒例の「芸能大会」が開催され、歌は7名出演。

一時カラオケが出来ない時があり、そのうっぷんを晴らすかのような素晴らしい声量で、また衣装を凝らした歌手？もいました。詩吟も立派。藤が丘学区の皆様7名による盆踊りは、舞台一杯に紅白の華が咲きました。「山本リンダショー」は若い時と変わらないスタイルと歌声にびっくり。お千代保稲荷参拝の帰路では、「シニア川柳・ビンゴゲーム」。「赤福餅」や「旅行支援金」も付きお得な旅ともなりました。



文化部長 加藤 誓(ちかい)

教養講座 第2日目

10月21日 名東文化小劇場

1時限 元気に生きるための運動とは
 愛知東邦大学人間健康学部
 助教 中野匡隆

元気に生きるとは、やりたいことが楽しくできること。その為には、肉体は健康であることです。加齢とともに身体機能は衰えますが適度な負荷で劣化進度を抑えることが出来ます。

筋肉は、簡単なトレーニングで、衰えを抑制できるし(写真右)、1万歩運動も、少し息切れがする程度の速足区間を入れれば、立派な有酸素運動になります。

座りすぎは、健康を害します、動く事が元気の源です、心してください。



2時限 日本舞踊を楽しみましょう

西川流日本舞踊 師範 西川長秀

きっちり袴を穿いて、長唄「えび」を優美に舞って戴くこと(写真右下)から始まり、最後は、受講者に手の動かし方を指導しながら、「名古屋よいとこ節」を、踊って戴きました。(PC不調で、以下は聞き取り)

～西川流は300年の歴史を持つ、名古屋の伝統芸能です。日本舞踊は、日本の自然美を愛で、ますらお・たおやめの生き様を、肢体の所作で現わします。

8歳で初舞台を踏み、今年、還暦となる私は、重ねて50回となる西川流長壽之會で、子供から80歳の高齢の方までの指導を通して、古典のみならず、時代の評価に耐えうる芸を、後世に伝えることを使命としています～。



